

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立静岡視覚特別支援学校PTA
学 校 名	静岡県立静岡視覚特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	20人

1. 使用状況

寄贈物品名	テレビ(テレビ台セット)
使用学年及び人数	幼稚部5人 小学部7人、中学部4人、高等部4人
使用頻度	各教科や総合的な学習の時間等、毎日使用している。
使用状況	(1) 教科指導等、毎日の授業時 (2) オンライン交流(交流籍、特支間、学区の学校間の交流等) (3) 発表等がある特別活動や総合的な学習の時間
物品の使用による変化や効果	ほぼ毎日、幼児児童生徒の学習において、活用している。 これまでであったテレビでは、詳細な部分まで確認することは難しかったが、大型テレビを通すことで、物の動きやデータの確認がしやすくなった。また、他校とのリモート交流では、相手校の友達の表情等が読み取れ、より充実した交流ができています。
今後の活用の見通しや課題	見ることに困難さがある本校の幼児児童生徒は、じっくり見ることや拡大して見る、見やすい環境で見ることがとても大切になる。 今後も漠然と見るのではなく、色や大きさ、物の質、音声の聞き方などこれまで以上に詳細に、また分かりやすい支援についても検証し、授業づくりに努めていきたい。
その他希望や所感など	日々の学校生活の中で欠かせないものであり、活用頻度が高く、毎日使っている学級もある。 寄贈いただきまして、感謝申し上げます。

2. 活用の様子

【家庭科】安全に調理をしよう

ご飯を上手に炊くという授業。炊飯器の特徴やご飯の炊き方、物流の動きなどを学んだ。画面が大きいので、炊飯器の細かい部分まで見れて、機能を学ぶことができた。



テレビで、炊飯器の機能を確認する児童



世界新記録のラインを確認する児童

【社会科】講師を招いての授業

講師を招き、「番組ができるまで」の内容の授業を行った。映像については、世界新記録に線を入れるなど、視聴者に見やすく、分かりやすい工夫をしている。児童は、テレビ画面をとおして具体的に工夫を確認できた。

【特別活動】交流学習

<小3>

交流校の西豊田小学校との交流学習を年に3回行うが、その事前学習として、オンラインで自己紹介を行った。相手の友達の様子や表情もよく見え、お互いの発表や質問がスムーズに進んだ。

<小6>

西豊田小学校の6年生が本校に来校し、交流を行った。お互いに修学旅行の予定や楽しみにしていることを紹介した。



オンラインで交流をする児童

学校間交流で、修学旅行の予定や楽しみにしていることを紹介する児童

